

都市再生整備計画 事後評価シート  
中央線沿線地区

平成23年3月

東京都 小金井市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	小金井市	地区名	中央線沿線地区			面積	325ha
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	5134(百万円)	国費率	0.41		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(梶野公園)、高質空間形成施設(道路インターロッキング舗装・トイレ整備)、高次都市施設(市民交流センター購入)						
		提案事業	地域創造支援事業(中間処理場の「環境ワールド」整備事業、路上禁煙・自転車放置禁止区域PR事業、安全・安心交差点等整備事業、市民起業サポートセンター開設事業、図書館学習室等整備事業)、事業活用調査(梶野公園活用計画作成、コミュニティバス(CoCoバス)調査)、まちづくり活動推進事業(市民交流センター交流活用事業、市民交流センターワークショップ・イベント、梶野公園オープニングイベント)						
	当初計画から削除した事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	道路(都市計画道路3・4・3) 地域生活基盤施設(高架下自転車等駐車場整備、駐車場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路(都市計画道路3・4・3): 期間内の事業が困難なため削除。</li> <li>地域生活基盤施設(高架下自転車等駐車場整備): JR中央本線連続立体交差事業の工期延長のため削除。</li> <li>地域生活基盤施設(駐車場): 期間内の事業が困難なため削除。</li> </ul>		・まちづくりの目標達成にマイナスの影響はあるが、目標も指標も据え置く。			
		提案事業	地域創造支援事業(保育園等耐震補強工事、市民サービスセンター整備(総合窓口)、安全・安心地域づくり事業) 事業活用調査(レンタル自転車事業調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域創造支援事業(保育園等耐震補強工事): 提案事業から基幹事業へ変更。</li> <li>地域創造支援事業(市民サービスセンター整備(総合窓口)): JR中央本線連続立体交差事業の工期延長のため削除。</li> <li>地域創造支援事業(安全・安心地域づくり事業): 当事業で位置付けられていた、安全・安心パトロール事業については、まちづくり活動推進事業(安全・安心パトロール社会実験)として位置付けることとしたため、削除。・事業名が防犯対策街路灯照度アップ事業へ変更。</li> <li>事業活用調査(レンタル自転車事業調査): 自転車事業調査の中で実施するため削除。</li> </ul>		・まちづくりの目標達成にマイナスの影響はあるが、目標も指標も据え置く。 ・安全・安心地域づくり事業については、安全・安心パトロール社会実験と防犯対策街路灯照度アップ事業に分けて事業を実施したもので、事業内容に変更はない。			
		基幹事業	道路(市道572・643号線道路補修工事) 地域生活基盤施設(保育園等耐震補強工事)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路(市道572・643号線道路補修工事): 安全・安心の道路整備のために追加。</li> <li>地域生活基盤施設(保育園等耐震補強工事): 提案事業から基幹事業へ変更。</li> </ul>		・まちづくりの目標達成にプラスの影響はあるが、目標も指標も据え置く。			
	提案事業	地域創造支援事業(市役所本庁舎壁面緑化事業、防犯対策街路灯照度アップ事業) 事業活用調査(自転車事業調査、市道135号線インターロッキング舗装設計等) まちづくり活動推進事業(安全・安心パトロール社会実験)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域創造支援事業(市役所本庁舎壁面緑化事業): ヒートアイランドに対応した施設にするとともに、環境学習を行うために追加。</li> <li>地域創造支援事業(防犯対策街路灯照度アップ事業): 安全・安心地域づくり事業の名称が変更し追加。</li> <li>事業活用調査(自転車事業調査): 駅周辺の自転車等利用者の適正化を図り、安全・安心な歩行者空間を確保するために追加。</li> <li>事業活用調査(市道135号線インターロッキング舗装設計等): 安全安心の道路整備のために追加</li> <li>まちづくり活動推進事業(安全・安心パトロール社会実験): 住民によるパトロールを社会実験として行うため追加。</li> </ul>		・まちづくりの目標達成にプラスの影響はあるが、目標も指標も据え置く。				
交付期間の変更	当初 変更	平成18年度～平成22年度 —	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—				

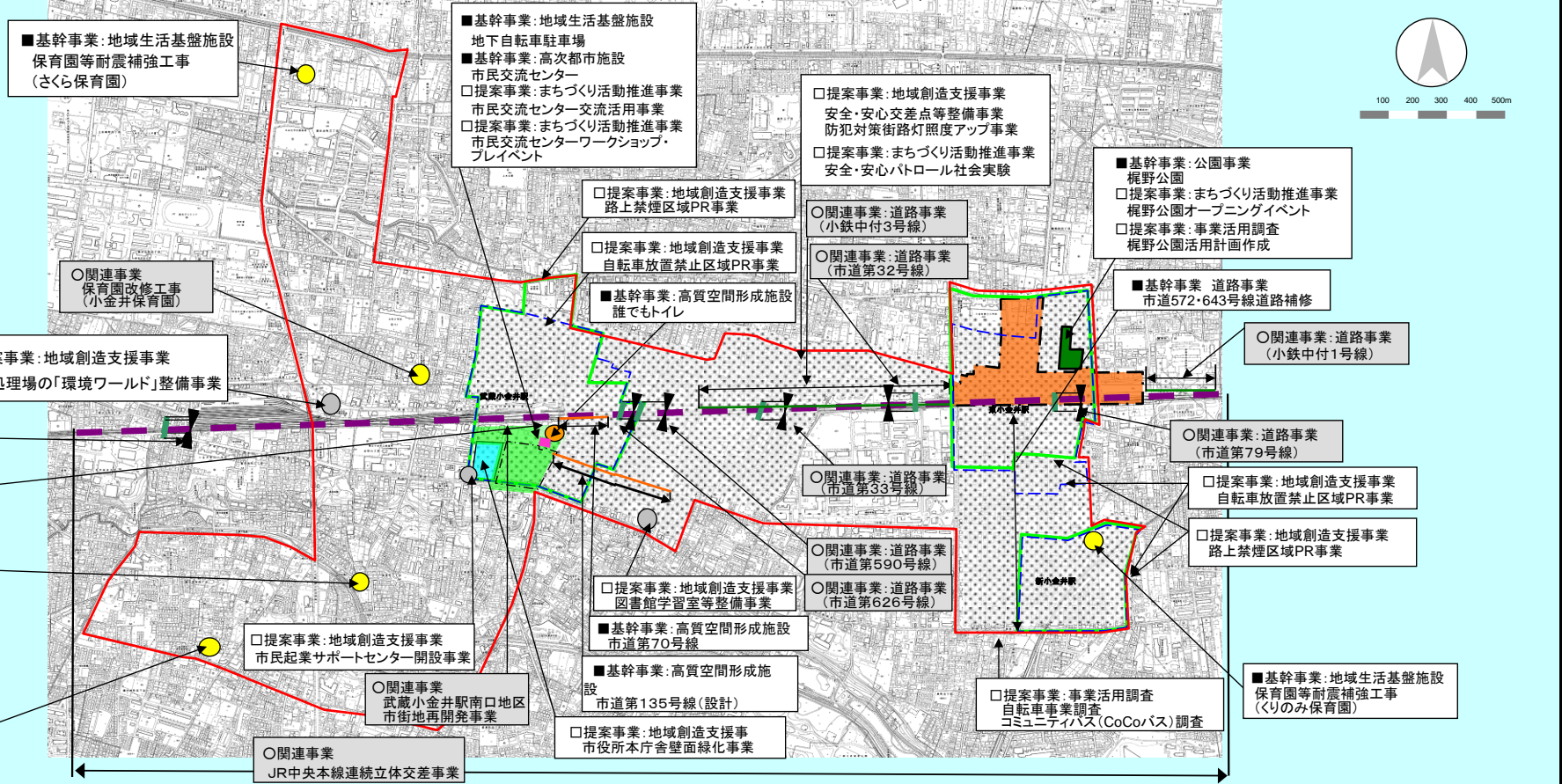
	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	来街者数	万人/年	6.180	H14	6,400	H21(H22)		6,260	△	あり	●	H24年6月
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標2	放置自転車台数	台/時	678	H17	440	H22		102	○	あり	●	H24年6月
	指標3	避難所及び一時避難場所への避難距離	m	避難所(乳幼児)750	H17	避難所(乳幼児)120	H22	避難所(乳幼児)120	○	あり	●	-	
				一時避難場所200		一時避難場所150		一時避難場所150		なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	CoCoバス利用者数 JR中央本線南市域の2路線(貫井前原循環、中町循環)	千人/年	188	H17				338			●	H24年6月
4)定性的な効果発現状況	<p>● 市民参加による事業の中で次のような意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段お会いしない方々の意見を聞く機会が持てた。・地域住民の視点で効率的に結果を出す良い手段だと思う。</li> <li>・市民の税金を市民が参加して必要と思われることに使用する良い機会だった。・普段交流のない方とお会いしたことがよかった。</li> <li>・小金井市にいながら知らないことが多く、多くの方と知り合えたことは貴重な経験になった。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
6)実施過程の評価	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	梶野公園活用計画作成 安全・安心パトロール社会実験				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民の意見を活かした整備等が必要であり、今後も市民参加を図っていく。			
	持続的なまちづくり体制の構築	市民交流センター交流活用事業				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後とも市民が運営主体となって実施していく。			

## 様式2-2 地区の概要

中央線沿線地区(東京都小金井市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値		
大目標:誰もが安全で安心して集えるまち空間をつくる 第1小目標:JR中央本線連続立体交差化を契機とした駅周辺地区の都市再生 第2小目標:市民交流拠点の形成による、うるおいと文化のあふれるまちづくり 第3小目標:誰もが活動しやすい安全・安心なまちづくり	来街者数	単位:万人/年	6,180 H14	6,400 H21(H22)	6,260 H22	
	放置自転車台数	単位:台/時	678 H17	440 H22	102 H22	
	避難所及び一時避難場所への避難距離	単位:m	避難所(乳幼児)750	H17	避難所(乳幼児)120	120 H22
		単位:m	一時避難場所200		一時避難場所150	150 H22
	COCOバス利用者数	単位:千人/年	188 H17	—	—	338 H21

- 凡例
- 都市再生整備計画の区域
  - 基幹事業
  - 道路
  - 公園
  - 地域生活基盤施設
  - 高質空間形成施設
  - 高次都市施設
  - 関連事業
  - 市街地再開発事業
  - 武蔵小金井駅南口第1地区(武蔵小金井駅南口第2地区)
  - 東小金井駅北口地区土地区画整理事業
  - JR中央本線連続立体交差事業
  - JR中央本線側道・横断道整備事業
  - 武蔵小金井駅南口駅前空間高質化調査



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺部の道路整備や人々が集う拠点施設の整備など、様々な事業の推進によって、武蔵小金井駅南口周辺へのアクセシビリティ及び魅力が向上し、利用者が増加した。</li> <li>今後は、東小金井駅周辺および武蔵小金井駅北口等の市街地への回遊性の向上が課題である。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民からの要望が多い危険な道路について、さらなる安全・安心な道路環境の確保を推進する。</li> <li>魅力的な駅前空間を形成するため、道路環境整備による駅周辺の利便性やアクセシビリティの向上、駅周辺部におけるまちづくりを推進する。</li> <li>放置自転車禁止を周知する仕組みづくりを行っていきとともに、駅周辺の安定的な駐輪場の整備を推進する。</li> <li>今後さらに環境学習活動やまちづくり活動等の魅力があり、にぎわいを生み出すソフト事業を実施していく。</li> </ul>